

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)平塚プロジェクト新築工事	階数	地上2F
建設地	神奈川県平塚市大瀬一之塚605の一部地642番	構造	S造
用途地域	近商・二種住、準防火地域	平均居住人員	5,260 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,飲食店,病院,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年4月 予定	評価の実施日	2021年10月30日
敷地面積	124,974 m ²	作成者	株式会社大木組東京本社一級建築士事務所
建築面積	27,952 m ²	確認日	2021年11月1日
延床面積	48,297 m ²	確認者	株式会社大木組東京本社一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.7

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 4.3

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	国道129号線沿いに大規模な店舗(物販・飲食・診療所)を計画した。	その他 特になし。
Q1 室内環境	JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	Q3 室外環境(敷地内) イオンのふるさとの森を敷地内の各所を緑化している。
LR1 エネルギー	特になし。	LR3 敷地外環境 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策をしている。
Q2 サービス性能		
LR2 資源・マテリアル	ODP=0、GWP=11の発泡剤を用いた断熱材を採用。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される